

# 私の紙面批評

弁護士

清源 万里子

## 女性議員活躍へ環境整備を

今年5月、国会と地方議選していたように、政治に男組みとして、育休や介護休  
 会選挙で候補者の男女比を、女双方の視点が反映されな  
 できる限り均等にするよう、ければ政策に偏りを生じ、  
 政党に求める「政治分野の介護や育児など女性が負担  
 男女共同参画推進法」が成することの多い分野に、び  
 立した。本紙は7月1日付「すみ」が生じてしまう。  
 「ニュース早分かり」で、近年は、人口の少ない自  
 日本女性議員は国際的に、治体を中心に、地方議員の  
 見て大変少ないことを指摘、なり手不足も深刻化してい  
 した。国際機関が発表した。地方自治の根幹を担う  
 女性国会議員の割合(20議会の活性化には、若者や  
 17年・一院制または下女性を含む幅広い層からの、あつたが、全真的な状況に

組みとして、育休や介護休  
 の規定充実が有効とする声  
 が相次いだと報じた。育児  
 や高齢者の世話に携わる人  
 が議員になれば、子育て・  
 介護問題で、より充実した  
 政策が期待できる。  
 以前、記者コラム「議会  
 傍聴席から」記者の目」に、  
 国東市議会の女性議員は1  
 人、姫島村議会はゼロと



(きよもと・まりこ) 1981  
 年、中津市生まれ。2008年弁  
 護士登録。11年大分県弁護士会入  
 会。日本弁護士連合会・犯罪被害  
 者支援委員会委員。現在、子育て  
 の真っ最中。

院)の比較では、日本は10政治参加が重要だ。そのた  
 ・1%で193カ国中15めには「政治は男性のもの」  
 8位。また、地方議会の女という意識を変え、女性や  
 性議員の比率(16年12月時若者が立候補しやすく、当  
 点)は12・6%で、女性選後も議員として仕事を続  
 口の町村議会は3割を超すけられるような環境整備が  
 ことを伝えた。欠かせない。例えば、ひと  
 人口の半分は女性であるり親の女性が議員として活  
 にもかかわらず、議員が男躍できる仕組みも必要だ。  
 性に偏っている現実に驚い9月16日付朝刊は、共同通  
 た方は多いだろう。6月3信の全国議長アンケート  
 日付「核心評論」でも指摘で、女性議員を増やす取り  
 切に願っている。

は触れていなかった。来春  
 は統一地方選が実施され  
 る。本紙に、県内19の県・  
 市町村議会の女性・若手議  
 員についての状況を統計も  
 添え、詳細に報道していた  
 だきたい。また、有権者が  
 どのような地方政治家の誕  
 生を望んでいるのか、アン  
 ケートによって浮き彫りに  
 してはいかだろうか。有権  
 者のニーズが分かり、県民  
 の政治に対する関心を高め  
 る一助にもなるのではない  
 か。幅広い層からの政治参  
 加が進み、誰もが生活しや  
 すい社会が実現することを